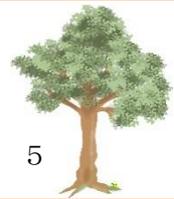




豊小だより

2019. 6. 5



今年度のスクールプラン（学校経営方針）を作成しました

すでに、本校のホームページにて公開していますが、今年度のスクールプランを作成しました（裏面をご覧ください）。このスクールプランを作成するに当たり、教育振興会広報誌「みのり」でお伝えしたように、豊小をどのような学校にしたいか、6年生に答えてもらいました。これからは、子供たちが主体となって、自分たちがなりたい自分・学校づくりを進めていくことが大切だと考えたからです。そこで、スクールプランに「子供の願い」を明記し、この願いを実現するため、本校の目指す子供像「考える子」「助け合う子」「たくましい子」の育成の3観点と、家庭・地域と共に教育活動を充実させることの、合わせて4観点から13の取組を掲げました。



校門横にある児童像の碑

これらの取組がしっかり行われているかどうかについて評価し、改善していくため、保護者の皆様に以下のようなアンケートを年度末に実施する予定です（丸数字はスクールプランにおける取組の番号です。アンケートの結果で、該当の取組を評価します）。本年度一年間、本校の子供たち、取組の様子について、授業参観や学校・学年だより、ホームページ等を通して見取っていただきたいと思います。アンケート実施時期については後日お知らせします。ご協力をお願いします。

【アンケート項目】

- (1) 本校は、学習への興味・関心を高め、子供たちが主体的に学習を進めることができるよう指導を工夫している。①
- (2) お子さまは、授業の内容が分かると言っている。①
- (3) 本校は、話し合い活動を重視し、学び合える集団づくりに努めている。②
- (4) 本校は、園や中学校と連携して教育活動を進めている。③
- (5) お子さまは、新聞やニュースを見たり、聞いたりして社会への関心をもっている。④
- (6) お子さまは、進んで「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」などの言葉を伝えることができる。⑤
- (7) 本校は、いじめの未然防止や早期発見・解決に努めている。⑥
- (8) お子さまは、他に対する思いやりの心が育っている。⑥
- (9) お子さまは、情報モラルや交通安全等のルールやマナーを守って生活している。⑦
- (10) 本校の子どもたちは、学級活動やたてわり活動等を通して、集団の一員として責任をもち行動する力が育っている。⑧
- (11) 本校は、子供たち一人一人を大切に、温かく指導している。⑨
- (12) 子供のことで気軽に学校に相談できる。⑨
- (13) お子さまは、将来の夢や目指す目標について家族とよく話す。⑩
- (14) お子さまは、地域の行事に参加したり、地域の人とふれあったりしている。⑪
- (15) 学校は、「PTA 総会」「懇談会」「学校だより・学年だより」等を通して、保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えている。⑫
- (16) 本校は、家庭や地域と連携して働き方改革に取り組み、子供に向き合う時間の確保に努めている。⑬
- (17) お子さまは、学校生活を楽しくしており、友人関係も良好である。
- (18) 本校は、不審者への対応や交通安全など安全面について適切に指導している。

* (17) (18)は、他の項目と合わせて分析します。

別途、子供たちと教職員対象のアンケートも作成・実施し、多角的に分析して取組を評価・改善して参ります（アンケート内容についてはホームページをご覧ください）。

H31年度 福井市豊小学校スクールプラン

子供の願い

【こんな学校に】

- ・元気で明るく笑顔いっぱい、来るのが楽しい学校
- ・明るい挨拶ができる学校
- ・男女仲良く、助け合い、思いやりのある学校
- ・一人一人がきまわりを守って生活する学校

福井市学校教育目標

地域に根ざす「学びの一貫性」

「系統性のある学び」と「地域に根ざした学び」の2軸の中で、一貫性をもった学びを4ステップ(基礎期・拡大期・充実期・発展期)に応じてスパイラルに進化させることで、子供たち一人一人が未来を拓く力を身に付けることを目指す。

そのため、①地域との取組の目的や子供に付けたい力と各教科等の目標とのつながりを重視するとともに、②発達段階に応じた系統性のある学びとなるようつながりを図ることで、「授業づくり」「夢を育む生き方教育」「気になる子供の支援」を充実させていく。

教育目標

豊かな心をもち、生き生きと学ぶ、たくましい子の育成

【目指す子供像】

考える子 助け合う子 たくましい子

研究主題

自他の考えを生かし、共に学びを深める子の育成

【研究の柱】

- Ⅰ 華象から学びの種を見つけ、探究・表現し、省察する主体的な学びを表現する授業づくり
- Ⅱ 協働的な活動を通して、学びを深め合う授業づくり



重点目標

自ら学び、よりよく問題を解決する子の育成【考える子】

- ①「主題・探究・表現型」の授業を通して、学びへの意欲や見通しをもって課題探究する学習過程を工夫する。
- ②思いや考えを子供同士で広げ、集団で考えを形成する協働的な学びが個々の学びを深めることを実感できるようなふり返りの場を充実させる。
- ③中学校区の充実を図り、教員及び児童が共に9ヶ年のカリキュラムを意識し、連続した学びを実現する。
- ④地域の人や本、新聞やニュース等から、社会事象や問題に関心を持ち、向き合おうとする態度を育てる。

つながりを大切に、高め合う子の育成【助け合う子】

- 5挨拶等の人と人をつなぐ言葉を大切にする指導を強化するとともに、子供たちが互いに意識して実践できるよう支援する。
- ⑥道徳科の授業の充実を図るとともに、児童・保護者との共感的なつながりを強めることで、いじめの未然防止や早期発見・解決を図る。
- 7 ネット利用、情報モラル等を含む学校・家庭生活におけるルールやマナーの大切さを自覚し、自ら実行しようとする態度を育てる。

自己実現に向かって粘り強く取り組む子の育成【たくましい子】

- ⑧育成したい資質・能力に沿って各種行事や異学年交流を計画、実施し、子供が目的やめあてをもち、自己の成長や存在感を自覚できるようにする。
- 9個に応じためあてが達成できるよう、一人一人に応じた支援をきめ細かに行う。
- 10将来の夢や目標をもち、その実現に向けて努力しようとする意欲や態度を育てる。

家庭・地域と共に教育活動を充実させる学校づくりの推進

- ⑩地域の学習素材・人材を活用したり、地域行事へのボランティア参加を推進したりするなど、地域の方々と子供が接する機会を通して、地域に愛着と誇りをもたせる。
- 12家庭・地域への情報発信を行い、社会に関われた教育課程の充実を図る。
- 13勤務時間及び業務内容の精選を行い、家庭・地域と連携しながら、働き方改革を推進する。